

発行責任者
公益社団法人隊友会 神奈川県隊友会
湘南支部長 清崎 忠園
平塚市豊原町 23 - 14
Tel(Fax) : 0463-31-6718

隊友

湘南支部ニュース

国民と自衛隊との架け橋!

初秋雑記

特別会員 鈴木 道子

2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件から20年、テレビでの特集番組を見る機会があった。鮮明な記憶が残る恐怖の事件であった。イスラム過激派テロ組織アルカーイダによる一連の攻撃で日本人24人を含む2,977人が死亡、25,000人以上が負傷し、インフラ被害や物的損害に加えて、現在まで、長期的健康被害も発生しているようだ。しかし、アメリカ治安担当の要職で、早くからアルカーイダや首謀者のウサーマ・ビン・ラーディンに着目していた人物がいたことは知らなかった。

その人物、ジョン・P・オニールについては、アメリカのドキュメンタリー番組でも取り上げられており、書籍や映像作品も発表されている。残念ながら私の粗い編み目は通り抜けていたらしい。どのような事にも共通することだが、星となるような人物なり、対策は必ずあるものだと思う。が、それは、往々にして極わずかの人たちによる少数意見である。喧しいマスメディアには、ともすれば、はじき飛ばされてしまう。そこに、経験豊かな眼力のあるトップがいれば、星は現実の作戦となるのだ。ジョン・P・オニール氏の声を正確にキャッチ出来ず、対策が取れなかった取り返しのつかない大きな失策の歴史となってしまったのではないだろうか。翻って、今年2月には、ロシアが

「特別軍事行動」と呼んでいるウクライナへの軍事侵攻が始まった。ウクライナの主権と領土の一体性を毀損し、国際法に違反する。第2次世界大戦後、最大規模の戦争が起き、ロシアに対する怒りの感情が渦巻いている。ウクライナのゼレンスキー大統領の要求に応じて、各国が武器供与し、ロシアの打倒が最大唯一の目標であるかの如くだ。ウクライナの歴史や国民性は、計り知れないが、少なくとも穏やかな日常が死に脅かされるようになった現実の苦悩は、如何ばかりであろうかと思ふと想像を絶する。

プーチン大統領とゼレンスキー大統領の双方に食い込める第三国の人物は現れないのだろうか。佐藤優氏の主張する「内在的論理」を捉えらるる人物はいないのだろうか。かつて我が国は、「鬼畜米英」と称して、国民の敵愾心を煽り、米英の真像に対する研究もなかった。しかし、アメリカは文化人類学者を集め、日本研究に力を入れたそうだ。マスメディアの発する戦争の熱気報道だけが印象に刻まれ、ともすれば戦争に苦しむ人々の日常が見えなくなっていないだろうか。

「戦争ほど、悲惨なものはない」のだ。今年4月時点で、国連は、ウクライナ侵攻に伴う食料、エネルギー、金融市場の混乱により、世界107カ国で17億人が深刻な打撃を受けたと発表した。うち、5億5,300万人が貧困状態にあり、2億1

500万人が栄養不足で、貧困と飢餓が拡大していると訴えた。また、我が国に目を向けると、ウクライナ戦争勃発と、台湾海峡危機で、安全保障についての関心が高まってきているのではないだろうか。国会では、防衛費の積み上げだけではなく、長期的な国防に関して深い議論をして欲しいと思っている。人的情報や公開データの分析で独自の精密なインテリジェンスを積み上げていくことが一層必要ではないだろうか。海外に情報要員を配置し、独自情報入手する対外情報機関を持つていない国は、G7(主要7カ国)の中で、日本ただ一国だけだということではないか。

かつて、日本軍の731部隊は、旧満州で精巧な生物兵器を開発し人体実験を行ってきた。その反省から戦後、生物戦から手を引いたそうだ。

アメリカやイギリス、中国、ロシアは、敵の仕掛けに備え、病原菌を培養し、ワクチンを開発し、いつでも対抗できる体制をとってきているそうだ。新型コロナウイルスが出たとき、これらの国がいち早くワクチンを開発できた背景でもあるらしい。コロナ禍に直面して知り得た厳しい現実だ。食料の安全保障も問題である。

かつて、フランスのドゴール大統領は、「食を外国に委ねるのは独立国家ではない」と発言し、フランスの自給率を10年間で85パーセントから120パーセントに引き

上げた。日本の食糧自給率は38パーセント。先進国の中で最低の水準だ。安全保障の足元がここでも脆弱だ。

コロナ禍で、人々の日常は大きく変化した。安全保障も含め、この経験を多くの教訓とし日本人の血肉として、後継者に伝えていく使命が、私たちにはあると思うのだ。

令和4年度平塚市総合防災訓練 (防災フェア・地震対応訓練)に参加

防災担当理事役 荻原 洋聡

1 全般

残暑厳しい8月27日(午前中)、平塚市総合公園において、3年ぶりに開催された令和4年度平塚市総合防災訓練(防災フェア・地震対応訓練)に、清崎支部長以下・計5名が参加した(清崎支部長、小甲事務局長、荻原防災担当主任、山本・鼓各防災担当。なお、会場にて小見山・喜瀬各理事役、久保前防災訓練担当主任の支援、応援あり)。

湘南支部防災フェア内容としては、① 隊友会活動のPR、「公益社団法人隊友会のパンフレット」の配布、② 防災グッズの展示、災害派遣の写真(海自八戸航空基地での事例)展示・説明、③ 地震による液化化現象の実験、展示・説明の3本柱で実施した。

2 所見

コロナ蔓延下での開催ながら、多数の来訪者があり、また多様な参加グループの活動内容を知り・学ぶ貴重な機会であった。その中で、隊友

会湘南支部のPRの機会を与えていたことは有意義であった。第4施設群、神奈川県本等との関連の深い団体に隣接する区画配置の考慮をいただいたことは、PR効果の促進に繋がったと思われる。好天に恵まれた時節柄、熱中症対策の観点からも、短時間ながら午前中の開催時間は適切だと感じている。訓練場所、時間配分等、ゾーニングを含め、適切であり、多様・多彩な活動をされている団体の存在を初めて知ることができた。

3 今後の展望

多種多様な特徴・特技を有する参集団体が、事態発生時に、具体的にどのような連携ができるか？その機能を發揮できるか？は、日頃からの相互の意見交換・情報交換が不可欠だと思う。一斉に参集することは困難であるにしても、類似カテゴリー・グループ間だけでも、今後、交流が進む段階に成長することを期待する。また、平塚市との防災協定締結の促進につなげたい。



萩原防災主任による液状化実験説明

「防衛講演会のお知らせ」
講師：元海上幕僚長 村川豊氏
演題：「これからの時代、

いかに国を守っていくのか」
日時：令和4年12月18日（日）
1600～1730

開場は1515からとなります。

場所：かながわ労働プラザ
3F多目的ホール
(JR石川町駅 徒歩3分)
主催：神奈川県隊友会
参加費：無料

1. 申込みは事前登録制です。
Hiroshi.Gotou@jp.ntdata.com
090-1992-8291 (担当：五島)

全員の氏名及び代表者の連絡先をお知らせ下さい。

期限：令和4年12月2日（金）
収容可能員数（100名）に達した時点で受付を終了します。

詳細は神奈川県隊友会HPをご覧ください。
<https://taiyukanagawa.com>

2. 講演を中止する場合は、同日HPでお知らせします。

3. 当日は必ずマスクの着用をお願いします。

「令和4年度安全保障トークサロン」の開催

昨年に引き続き西湘支部と共催事業としては第5回となります安全保障トークサロンを下記により開催致します。

1. 日時 令和4年10月15日（土）
1400～1530（受付1330）
2. 会場 藤沢商工会議所「ミナパーク」
3階 303会議室

3. 講師 四方輝夫氏
(ジャーナリスト、作家)

4. 演題 「日本国民と我が国の安全保障」

5. 意見交換 講演後講師との意見交換
今年2月に起こったロシアのウクライナ侵攻を受けて、嘗てない程に日本の安全保障に対する関心が高まっています。

本トークサロンにおきまして皆様方の積極的なご参加により、当安全保障トークサロンの目的であり、安全相互の活発な意見交換を期待しております。
(担当理事役高鹿治雄)



隊友会湘南支部安全保障トークサロン講師
四方輝夫氏
(ジャーナリスト・作家)
歴史と宗教と関わり、歴史上の人物伝、政治経済をテーマに活躍するジャーナリスト。著書・共著に『入門 心に響く日本語』（洋泉社）、『日本の天皇国難と天皇の歴史』（徳間書店）、月刊正論ほか多数。趣味は、カヌー、釣り。蘇峰の勉強会ではナビゲーターを務める。

久々の総合防災訓練

支部理事役(防災士) 鼓 達也
8月27日、2年ぶりに平塚市総合防災訓練が平塚総合公園で実施され支部長以下4名の会員が参加した。災害は感染症流行中でも待ってくれず、複合災害は悲惨な状況に陥りやすく訓練は重要だ。

コロナ禍であり露店はなく、防災関係機のブースのみであった。当日は最高気温32℃ 湿度80% 風速3m/sと日陰でも熱中症になりそうな環境であったにもかかわらず、多くの人が来場していた。コロナ禍であっても皆が防災に興味を持っているという証、またはコロナ禍でほかにやること



萩原理事役の実験と子どもたち



隊友会の説明を受ける平塚市長

がないから来場したのか。筆者は前者であると信じた。筆者は防災や危機管理意識は日常生活の延長線にあると考えており子どもの頃より養っていくべきであると思う。子ども連れが多く来場している光景や萩原理事役の液状化実験も子どもにぎわったことは防災に関わる身としてうれしかった。

皆さんも地域の防災訓練や自治体の防災にも関わり自衛隊の経験活用や自身の防災能力向上を図っていただきたい。

令和4年度年会費納入者(敬称略)
湘南支部長(九月二十日現在)
次の会員各位から年度会費を納入していただきました。ご協力に感謝申し上げます。

特別会員
吉田清人、
林 祐 横須賀支部より

新入会員のお知らせ(敬称略)
転入(正会員)
林 祐 横須賀支部より

- 「支部の予定」
- 09/29 (木) 部隊研修 (市ヶ谷)
 - 10/08 (土) 第6回支部理事役会
 - 10/15 (土) 湘南・西湘支部トークサロン
 - 10/20 (木) 10月隊友紙発送
 - 11/05 (土) 第7回支部理事役会
 - 11/24 (木) 11月隊友紙発送
 - 11/下旬 名所旧跡探勝(場所未定)

編集後記
18日19時頃、鹿児島市に上陸した台風14号は、935hpaで過去4番目の低い気圧でした。

今後とも各種ジャンルに亘る、ご寄稿のご協力を宜しくお願い致します。